

ちがさき丸ごと博物館の大人気企画「まち歩き」。
2月には次のまち歩き事業があります。
いずれも1月15日（木）から受付開始です。
お申し込みは市教育委員会社会教育課へ電話で。
（☎0467-82-1111）。



- ① 2月7日（土）10時から
まち歩き「国木田独歩追憶の碑へ」
【案内役】平山孝通さん（市文化生涯学習課）
文化資料館で1時間ほどの講義の後、市営野球場にある国木田独歩追憶碑まで歩きます。定員20名。
- ② 2月17日（火）9時30分から（予定） まち歩き「産業ガイド 茅ヶ崎の工場見学」
【主催】ちがさき丸ごと博物館の会
茅ヶ崎市内にある（株）明治 神奈川工場を見学します。定員20名。

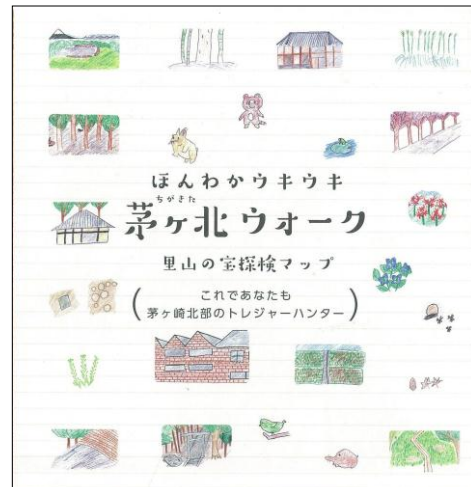
まち歩き「茅ヶ崎の大山道を歩く」のガイドとして活躍した
文教大学の学生さんたち。

そんな学生さんたちが主体となって制作した、茅ヶ崎北部の
ウォーキングマップができました。

その名も「ほんわかウキウキ茅ヶ北ウォークー里山の宝探検
マップ」。

文教大学湘南校舎や神奈川県立茅ヶ崎里山公園を中心とした
北部の都市資源をまとめた、かわいいデザインが素敵なマップ
になっています。

文化資料館や茅ヶ崎市役所社会教育課窓口などで配布してい
ます。部数に限りがありますので、手に入りたい方はお早めに
どうぞ。



ちがさき丸ごとふるさと発見博物館って何？ 茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、
文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、「このまち」らしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出
し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれが持っている意味や魅
力を広く市民に周知する一方、それぞれを関連付けて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、茅ヶ崎を
改めて知り、茅ヶ崎を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は
地域のかげがえのない宝物として、地域により保護され育てられていくこととなります。住民が、自分たちの地域
の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

編集後記

今回特集したまち歩き「茅ヶ崎の大山道を歩く」は、平成26年11月21日（金）から100日間にわたって
開催している、企画展「丸ごと100-茅ヶ崎を知る100の機会一展」の一環として行われました。企画展「丸
ごと100」は平成27年もまだまだ続いていきます。多くの市民のみなさんと、わがまち茅ヶ崎をともに知る機
会をたくさんたのしんでいけたらいいなと考えています。ちがさき丸ごとふるさと発見博物館を本年もどうぞよろ
しくお願いたします。



（愛称は「ちがさき丸ごと博物館」）



誌上まち歩き

茅ヶ崎の大山道を歩く



▲大山道をちょっと外れた道もコースに入れて田園風景を楽しみながらのまち歩き

ちがさき丸ごと博物館
事業で、多くのみなさん
からご好評をいただい
ているのが、市内のさま
ざまな場所を巡る「まち
歩き」企画。地域やテーマ
に合わせて都市資源をご
紹介し、参加者のみなさん
と学び合いながら、楽
しく歩いていきます。

ちがさき丸ごと博物館
の会と文教大学が一緒に
ガイドを行う「茅ヶ崎の
大山道を歩く」は今回で
3回目を迎えました。

今号は平成26年12月6日（土）に開催した
「ちがさき丸ごと博物館
まち歩き」の様子をレポ
ートします。

日時：平成26年12月6日（土） 9：00～12：30 【約7km】
コース：JR 辻堂駅～四ツ谷不動堂～餅塚の辻～宝積寺～農業ふれあい館～西光寺～神明大神～水越家長屋門
～本在寺～熊野神社～鶯茶屋跡～鶴が台団地

（※挟み込んでいるコース地図を御参照ください）

ちがさきの大山道（田村通り大山道）を歩く

～四ツ谷一の鳥居から鶴が台団地まで～

大山は古い時代より信仰されていました。

ことに江戸時代中期から「西のお伊勢参り、東の大山参り」と大変人気
があり、関東一円から大勢の参詣者が登拝しました。大山登拝への道は大
山道（おおやまみち）と呼ばれ、たくさんの道筋が残っています。なかで
も茅ヶ崎を通る「田村通り大山道」は参詣者も多く、人気の大山道でした。
今回はこの大山道を中心として周辺も歩きます。

（次ページへ続きます）



辻堂駅北口で集合し、簡単なコース全体の説明のあと、国道1号沿い四ツ谷にある不動明王付きの道標「四ツ谷不動」まで進みます。

ここは田村通り大山道の入口で、大山詣が盛んだった時代は、旅人が朝4時や5時に起きて、江戸から東海道を歩き、やっと東海道から分かれて大山道に入るので、まさに「参詣に入る」という場所です。

不動明王付きの道標は1676年(延宝4年)に建てられたもので現在のものは2代目です。この道標のすぐ北側に復元された「一の鳥居」1959年(昭和34年)があります。大山道にはこの「一の鳥居」の他、伊勢原市に「二の鳥居」と「三の鳥居」があります。



▲辻堂駅北口で集合しコース説明

「右野道の石地蔵」「餅塚の辻」などを通り過ぎ、一旦大山道を少し外れ、赤羽根海蝕崖の近くを歩きます。

1597年(慶長2年)からある宝積寺は、寺の周辺に庚申塔など石造物があり、裏山には横穴古墳もあります。江戸時代の歌人で「かながわの100人」にも選ばれた「村野もと子」の墓や顕彰碑もあります。

次は、企画展「丸ごと100」スタンプラリーのポイントにもなっている富士見ファーム赤羽根市民農園「農業ふれあい館」で一休み。この辺りから眺める丹沢山塊や富士山の風景は素晴らしいものです。1307年(徳治2年)に建立された西光寺には大山燈籠や茅ヶ崎で最古といわれる喚鐘(かんしょう)があります。平安時代末期の源義家が勧請したと伝わる神明大神を巡って、再び大山道へ戻ります。



▲大ケヤキと水越家の長屋門近くにて

樹齢約400年、江戸時代に植えられたと言われる「目通り約4メートルの大ケヤキ」。この前にある大山道は江戸時代当時の道幅のままです。すぐ近くに水越家の長屋門。長屋門とは、武家屋敷の門として発生したもので江戸時代に多く建てられました。水越家の長屋門は明治時代のもので、かつては茅葺きでした。

続いて1669年頃(寛文9年頃)現在の地に移転再興された本在寺、山門前の大山燈籠は大山道「一の鳥居」と同じ石工の名前が彫られています。1658年(万治元年)大岡越前守忠相の父にあたる大岡忠高が紀州の熊野権現から勧請した高田熊野神社へと歩いて行きます。

そして小出県道を渡り、現在は駐車場になっている「鷲茶屋(さぎちゃや)跡」へ。明治の始めまであったこの茶屋の土間には、鷲の置物があって、誰が言うともなく「鷲茶屋」と呼ばれるようになったそうです。名物は「麦とろ」と「どぜう汁」だったそうです。

約3時間30分の地元旅。江戸時代の「大山詣の薫り」を追う素敵なまち歩きになりました。

参加者のみなさんからのご感想です (参加者アンケートより一部)

「茅ヶ崎に係わる大山街道を歩きながら江戸時代の人達に思いをはせながら散策出来、良かった」

「学生のガイドは新鮮でとても良かったです。今日は天気も良く、知らないところを歩いて良かったです」

「大山信仰に興味があった。駅から離れると意外と古い物、田園風景が楽しめ、びっくりした」

「とても良かったです。市内転居で海から大山街道沿いに引越してきました。近隣のいろいろな所を知ることができました」

「私はあまり歴史に詳しくなかったのですが説明もわかりやすくって良かったです」

「大学生のボランティアさんが元気で良かったです。ベテランのみなさんのサポートが大変すばらしかったです」

※原文をそのまま掲載しています。



▲熊野神社にて

ガイドに取り組んだ 文教大学のみなさんの 感想です

ガイド役の学生さんたちは、ちがさき丸ごと博物館の会による約3か月にわたる研修と自主学習を行い、本番に臨みました。さわやかなガイドで、参加者のみなさんにまち歩きを楽しんでいただくことができました！



文教大ガイドのみなさん。左から、細谷さん、高橋さん、小林さん、折尾さん▲

ガイドとはどういうものなのか、本番に臨むまでにやるべきこと、という具体的なことを学ぶことができました。すでに用意されていた資料を基に自分なりに調べ、取り組んできました。その成果を丸ごと博物館の加藤さんに修正を加えて頂くという繰り返しの中で自分には何が足りないのかを直接的に理解し、また臨む意欲が湧きました。当日、どのような方が参加するのかを楽しみにする半分不安もありました。自分のガイドポイント以外にも、お客様に楽しんでいただけるよう積極的に会話をしていくことを心がけ、なるべく参加者全員と話すようにしました。また、お客様の方から話しかけて頂くことも何度もあり、その度に笑顔で答えました。お客様の多くの方は茅ヶ崎にお住いでした。私がお世話になっている茅ヶ崎のみなさまもとても温かく、参加者のお客様もとても温かく接してくださいました。最終的に、ガイドをしながらみなさんと仲良くなれた気持ちになり、解散する時はさみしく感じました。参加したことで、大山道についても知識を身につけることができました。今回のプロジェクトに参加したことは自分の中でガイドの方法を身につけ、コミュニケーション方法を身につけ、多くの事を得ました。(細谷さん)

鳥居をくぐると大山街道。曲がり道が多く起伏に富んだ小路。昔の街道の趣を歩きながら確かに感じました。道祖神など、昔から残された史跡には大山街道が栄えた時代の物語がいっぱいに詰まっています。私はガイドとして歴史の断片をただ伝えるのではなく、大山街道の物語をたくさんのエピソードを交えて案内させて頂きました。「なぜここに鳥居があるのだろうか?」「道祖神はなぜここに立っているの?」知ることがなければ、見向きもせずに素通りしていたかもしれません。それらの中に隠された歴史を紐解いて物語を聴くことで、鳥居や道祖神の存在がとても興味深く感じます。「覚えなきゃ」「説明しなきゃ」ではなくて「こんな面白いお話があるんだよ。」と本の読み聞かせをするような感覚でとても楽しくガイドをさせていただきました。歴史は知ることではなくて五感で感じて楽しむものなのだ、私はガイドをしていて強く思いました。(高橋さん)

私は昨年から引き続き、二度目のガイドを務めました。「昨年よりも良いガイドを」と意気込んでいたのですが、上手くいったところももっと勉強をしておけばよかったと思うところもあり、反省が残っています。

ですが、天候にも恵まれ、参加者の皆様とお話をしながら歩くのがとても楽しかったことが一番の感想です。中には大山道や茅ヶ崎について詳しい方もいらっしゃる、私もいろいろと教えていただいて、学び、茅ヶ崎の魅力を知ることができました。ガイドは人に知識を伝えながら、自分自身も学ぶことが尽きないのだと感じています。(小林さん)

大山は小さい頃に訪れたことがありますが、大山街道の詳細や、関係のある社寺を訪れることは初めてでした。歴史の深い大山街道を自らガイドすることで、多くの情報を知ることができました。

そして私は、ツアーガイドという役目を、初めて務めました。学生主体のガイドということもあり、当日は不安でいっぱいでした。ですが、参加者の方に「大山街道に興味を持った、あなたたちの笑顔に元気をもらった。」と、たくさんの言葉をいただいて、最後まで自信を持って、楽しくガイドをすることができました。(折尾さん)